

理学療法かわら版

一般社団法人
山形県理学療法士会

目次

理事コラム	1	倫理委員会より	5
第38回東北理学療法学会報告	2	フレッシューズ紹介	6
山形県理学療法士会ってどんな組織!?	2	事務局より・編集後記	8
専門領域推進部の紹介	3		



理事コラム

社会局 公益事業推進部 理事
いちまる訪問看護ステーション

早坂 慎也

令和元年度より社会局公益事業推進部理事を拝命いたしました早坂慎也です。会員の皆様におかれましては、常日頃から公益事業推進部が担当しております各種イベントなどにおいて多数の参加をいただき、この場を借りて感謝申し上げます。

さて、私が担当しております「公益事業推進部」は理学療法士が持っている専門知識・技術を活用し、山形県の皆様へ地域・社会貢献を行うことを目的とした事業を行っております。大きく3つの班に分け、①介護・予防や健康増進に関わる班、②スポーツ分野に関わる班、③災害対策に関わる班で活動しています。いずれにおいても行政や他団体との共同活動になりますので「理学療法士は何ができる人なのか?」ということが常に周りから観察されている場面が多くなります。その為、一人一人が理学療法士という資格保持者ということを強く認識し、責務を全うできるように努めています。

また近年、大規模災害が日本各地で発生しており、令和元年東日本豪雨においても「やまがたJRAT」の要請を受け、会員の皆様も災害支援に駆け付けていただきました。活動内容として生活不活発病の関する相

談や予防体操の実践、避難所での環境助言および精神的ケアなどが主となります。当然これらは経験における客観性が必須となり、実際の支援現場からは同一人物からの継続支援が望ましいといった声もいただきました。しかし、各職場やご家族からの協力も必要であり極めて難しいことも現実にあります。この問題に対しては早期に災害対応マニュアルを作成し、今後起こりうる激甚災害に備えていく必要があると考えています。

この度の新型コロナウイルスの影響で会員の皆様の生活は大きく変化し、仕事や私生活にも強く影響が出ていることとお察しいたします。例年、公益事業推進部は対外的なイベントを中心に活動していますが、令和2年度のイベントは軒並み中止となり、その影響は計り知れないものとなっています。しかしながら、これまで諸先輩方が築いてきた活動の灯を消すことなく活動を見直していくことが求められると思っております。未曾有の事態で、必死に活動されている皆様、それを見届けてくださっているご家族の方々に感謝と敬意を表し、ご挨拶とさせていただきます。

東北理学療法学会報告

10月17日・18日に当会担当で開催された第38回東北理学療法学会が無事終了しました。
大会長より御礼のあいさつが届いておりますので、掲載いたします。

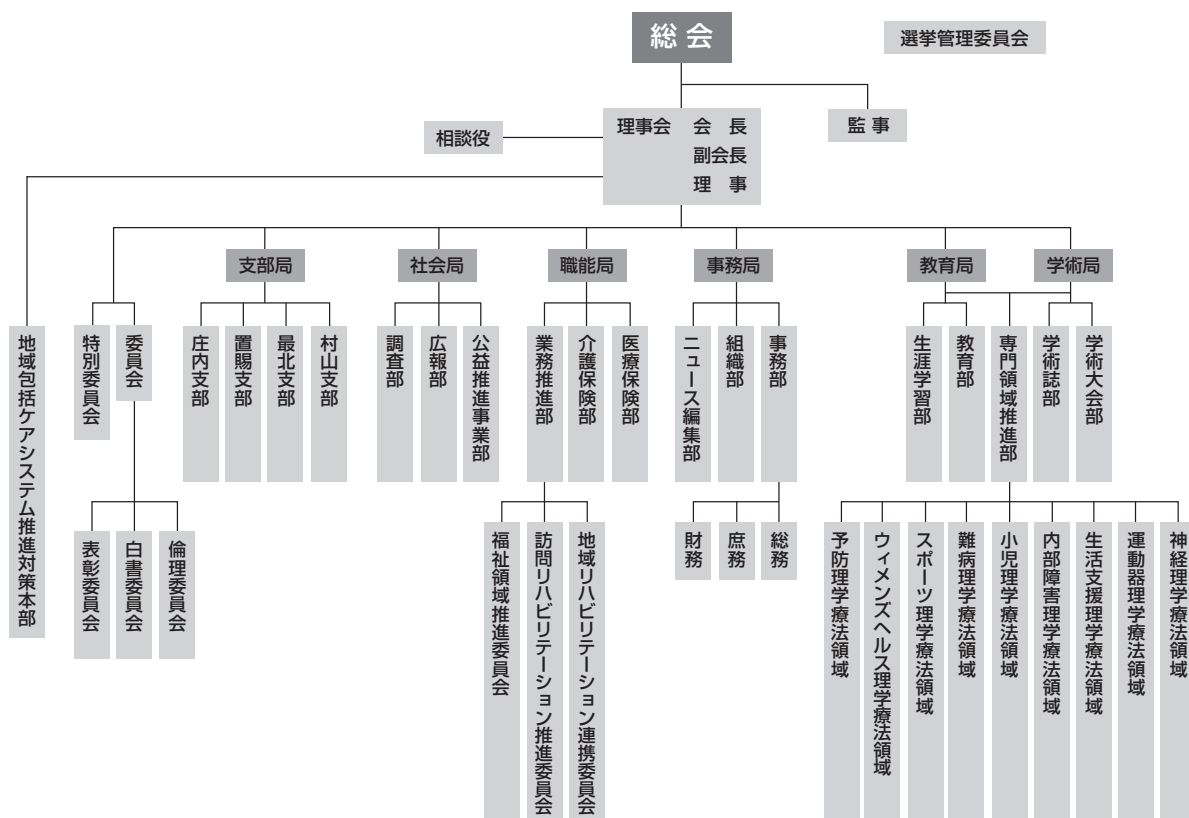


第38回 東北理学療法学会
大会長（山形済生病院）
遠藤 武 秀

この度、第38回東北理学療法学会におきまして、皆様には多大なご協力をいただきありがとうございました。お陰をもちまして1086名（山形県内では170名）の参加をいただき、「理学療法士としての多角的な成長」のテーマのもと、盛会に終了することができました。急にweb開催へ変更させていただいたため、皆様には事前登録や演題登録でお手数をおかけしましたが、多数御登録いただき重ねて御礼申し上げます。本学会大会の準備ならびに運営に当たりましては、初めての試みであり、何かと行き届きの点があったと思いますが、何とぞご容赦の程よろしくお願い申し上げます。末筆ながら、新型コロナウイルスの第3波が心配ではありますが、皆様の一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

山形県理学療法士会ってどんな組織!?

当会の組織図を知っている会員はどれくらいいるでしょうか？下図は当会ホームページにも掲載されている当会の組織図です。様々な部や委員会があり、それぞれに会員が所属し山形県理学療法士会を運営しております。今号からは各部や会の紹介も含めて活動内容等をご紹介していきたいと思っております。



専門領域推進部より

専門領域推進部は、①会員の専門・認定理学療法士取得を推進・援助すること、②各専門領域における独自性のある勉強会ならびに研修会を開催し、当会および会員の発展に寄与することを目的として発足した部であります。

領域は、神経疾患、運動器疾患、生活支援、内部障害、小児疾患、難病疾患、スポーツ、ウィメンズヘルス、予防の9領域あります。各領域の部員が中心となって会員となっていたいただいた皆様と連携をとり、勉強会や文献抄読会、伝達講習などの企画・運営を行っております。ご興味のある方は是非会員登録をしていただき、共に研鑽を積んでいきましょう。

～各領域の紹介～

1) 神経理学療法領域

当領域では「顔の見える関係作り」と「情報共有」を目標に掲げ、「脳卒中」と「脊髄障害」に関連した勉強会を年3回程度企画し、これまで5回開催してきました。内容は「認定取得予定者向け」と「認定取得者向け」の2本柱で認定取得者が情報提供をしています。日本神経理学療法学会の活動に則り、根拠に基づいた幅広い視点での情報提供に努めています。活動基盤を作るべく、多くの方々の会員登録とご参加をお待ちしております。

2) 運動器理学療法領域

当領域では運動器疾患において基礎となる解剖学や触診技術をはじめ、徒手療法や運動療法などの実践的な手技の研修会を開催してきました。今後の予定として、運動器疾患をより広い視点からも捉えられるように他領域との合同研修会も企画しています。また、研修会の形式は現在のニーズに合わせてオンラインでの開催も予定しています。研修会の内容は会員の方の要望を積極的に取り入れて参りますので、ぜひご登録ください。

3) 生活支援理学療法領域

医療領域のこと、介護領域のこと、各々の領域で働いている方のことをどれだけ知っていますか。各領域で様々な違いはありますが、共通することは、患者様、利用者様の“生活を支援していく”ことだと思います。チーム医療、多職種連携が推奨される昨今、まずは“同職種間の連携を深めていきたい”と思っております。生活支援といっても多岐にわたり、私共も至らない点ばかりですが、医療から介護へのシームレスな移行のため、顔の見える関係作りの場となり、共に学んでいければと思っております。

4) 内部障害理学療法領域

内部障害理学療法領域は、呼吸、循環、代謝などに分かれており、またそれぞれの領域別で認定を取得している部員も所属しています。内部障害領域は呼吸、循環、代謝それぞれの領域だけを勉強していても患者さんの問題点は捉えにくいと思います。それはワッサーマンの歯車を考えれば理解できるのではないのでしょうか。そのため、それぞれの領域の部員たちより意見を聞き幅広く勉強会を開催したいと考えています。ぜひ一緒に内部障害領域を盛り上げていきましょう。

5) 小児理学療法領域

小児理学療法は、主に病院・施設・訪問看護ステーションなどでリハビリテーションが提供されております。しかし、高齢者と比較して小児を経験する機会は少なく、評価・治療について悩んでしまう方も多いのではないのでしょうか。当領域においては、①小児の発達や評価・治療に関する知識の共有、②症例を通して情報を交換しより良い医療サービスにつなげることを目的に勉強会などを開催していきたいと考えています。

6) 難病理学療法領域

難病の理学療法は、臨床でも関わる機会が限られている分野です。だからこそ、患者様の訴えに対して対応し難い時が多くあります。疾患、環境、メンタルなどの患者様との関わりの中で得た様々な経験を会員の皆さまと情報共有しながら、部員の中で出来ることを模索し、勉強会や研修会を検討しています。山形における難病患者様のリハビリテーションに生かしていければと考えております。是非、難病理学療法領域への登録をお願いいたします。

7) スポーツ理学療法領域

当領域を構成する部員は、クリニックや病院での関わりの他、実際のスポーツ現場においても活躍しており、関わるスポーツも多種多様です。アスリートと関わる理学療法士のあり方やスポーツ理学療法について様々な角度から勉強会を企画し、時には専門の先生をお呼びして、学びを深めたいと考えております。スポーツを知っている方も知らない方も、これから勉強しようと考えている方も学べるような領域を目指しております。

8) ウィメンズヘルス理学療法領域

ウィメンズヘルスと聞くと産前産後、女性のものと思われがちですが、皆さんに関係のある領域であると考えています。スポーツ現場での生理不順、乳がん・子宮がん・前立腺がん等のがんリハ、産後や手術に起因する腰痛症、高齢者の尿失禁（担当患者さんがおむつやパッドを使用している）、配偶者の妊娠出産や病気等を考えると、理学療法士として臨床で働く上で関わってくることであり、思っていただけではないでしょうか。今後オンラインでの勉強会等も企画したいと思っておりますので、ぜひ、自身の身近なことであると捉え、ご参加いただければと思います。

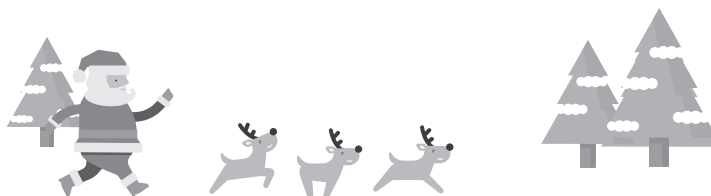
9) 予防理学療法領域

皆さんは「予防理学療法」と聞くと、どんなイメージを抱きますか？その範疇は健康増進のための一次予防から、早期発見・早期治療の二次予防、そして私たちが普段提供している理学療法、重症化予防にあたる三次予防まで、多岐に渡ります。また、各ライフステージからみても、周産期から終末期まですべての年代に関与できる広い領域と言われております。それぞれのフィールドで実践できる〇〇予防について、一緒に考えてみませんか？

下記に会員の登録方法と各領域のメールアドレスを記載いたしました。ご興味のある方は、複数の領域にわたっても結構です。是非会員のご登録をお願いいたします。なお昨年度以前にご登録いただいている会員の方もご連絡先の確認等もごございますので、お手数をおかけしますが再度ご登録をお願いいたします。

<登録方法>

本文に①お名前、②所属、③個人のメールアドレス、④認定・専門理学療法士の有無（有の場合、その領域名を含む）を記載のうえ、ご興味のある領域にメールを送ってください。そのメールへの返信をもって登録完了といたします。なお、メールアドレスは個人情報を扱う場合がございますので病院・施設のものではなく、個人のものご準備ください。また今回ご登録いただきました個人情報は、当部の業務を行う範囲で利用するものに限定し厳重に管理いたします。



①神経理学療法領域	reha@shin-toku.com
②運動器理学療法領域	undouki.ypt@gmail.com
③生活支援理学療法領域	seikatusien_ypt@yahoo.co.jp
④内部障害理学療法領域	pt.naibu.yamagata@gmail.com
⑤小児理学療法領域	shouni.yamagata.pt@gmail.com
⑥難病理学療法領域	y.nanbyou.pt@gmail.com
⑦スポーツ理学療法領域	yamagata_pt_sports@yahoo.co.jp
⑧ウイメンズヘルス理学療法領域	womenshealth.yamagata@gmail.com
⑨予防理学療法領域	yobouyamagata@yahoo.co.jp



問い合わせ先：

山形医療技術専門学校 荒井正志

TEL：023-645-1571(直通)

E-mail：arai@ymisn.ac.jp



倫理委員会より

～ハラスメントに関するアンケート調査の結果について～

倫理委員会では、当会員の倫理に関する意識の向上と各職場における環境改善に役立てる目的で、平成31年3月に「ハラスメントに関するアンケート調査」を実施いたしました。アンケートの実施に際しては多くの方にご協力いただき、ありがとうございました（対象者923名 回答者266名 回収率28.8%）。遅くなりましたが、この度集計結果がまとまりましたので以下に概要をご報告いたします。

ハラスメントに関する認知度では、「非常によく知っている」と「ある程度知っている」と答えた人の割合はセクハラ（セクシャルハラスメント）、パワハラ（パワーハラスメント）では89.9%と認知度が高いのに対し、マタハラ（マタニティハラスメント）は77.4%でした。

「職場でハラスメントを防止するために必要だと思われること」という質問に対しては、最も多かった回答は、ハラスメントに対する意識、理解を高める（30名）で、相談しやすい環境（24名）、相談窓口や認定機関の設置、相談ルートの明確化・周知（23名）、研修会・勉強会等による教育（22名）、互いの信頼関係や日頃からのコミュニケーション（21名）、思いやり・周囲への配慮・勇気・個人の人間性（11名）などが続きました。ハラスメントに対する意識を高めるとともに、予防するための組織としての環境整備、研修会・勉強会での学び、さらにはハラスメント防止のための重要な環境要因として、信頼関係構築や互いの思いやる気持ちの重要性を挙げる人が多かったと思われます。

紙面の都合上、割愛させていただきましたが、その他にも「ハラスメントに対する予防・相談対策の整備状況」、「勤務する施設におけるハラスメントを防止するための職場環境」など、質問項目は多岐にわたっています。今回のアンケート結果の詳細に関しては当会ホームページの会員専用に掲載する予定ですので、皆さんぜひご覧ください。

最後になりますが、この調査結果を今後の倫理委員会の活動に反映し、より一層ハラスメント防止に向けて委員会活動を進めていきたいと考えております。

フレッシュ紹介

内容

①勤務先、②経験年数、③出身地、④出身校、⑤趣味・特技、⑥コメント

前号に引き続き、今年度新たに当会へ仲間入りをした皆様を紹介します。
フレッシュなパワーを加えて県士会員力を合わせて盛り上げていきましょう！



和田かれん

- ①篠田総合病院
- ②1年目
- ③山形県
- ④東北保健医療専門学校
- ⑤映画鑑賞
- ⑥笑顔を忘れず、患者様に信頼される理学療法士になります！



菊地 梨沙

- ①篠田総合病院
- ②1年目
- ③山形
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤花笠、キャンプ
- ⑥患者様に寄り添って毎日治療していきます。



越湖侑太郎

- ①篠田総合病院
- ②1年目
- ③北海道
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤テニス・野球
- ⑥自己研鑽を怠らず、日々努力していきます！



諏訪部麻耶

- ①みゆき会病院
- ②1年目
- ③鶴岡市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤映画鑑賞
- ⑥患者様の心に寄り添える理学療法士を目指します。



西村 祐樹

- ①至誠堂総合病院
- ②1年目
- ③山形県
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤ダンス
- ⑥精一杯頑張っていきます



佐藤 薫

- ①公立高島病院
- ②1年目
- ③山形市
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤美味しい物を食べること、洋服をみること
- ⑥はやく一人前の理学療法士となり沢山の患者様の為になれるよう精一杯頑張ります。



医療機器・福祉用具販売レンタル
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

日医器流通正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434
E-mail: somu@took.co.jp

〒997-0806
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

医学書のことならお任せください



日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書一般

株式会社 高陽堂書店

山形市大野目3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
http://www.koyodo.com/ email info@koyodo.com



平 梨花

- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③白鷹町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤映画鑑賞
- ⑥患者様に寄り添えるPTになれるように頑張ります。



池田 優斗

- ①日本海酒田リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③酒田市
- ④東北福祉大学
- ⑤運動
- ⑥一生懸命頑張ります。



加藤 佑奈

- ①日本海酒田リハビリテーション病院
- ②1年目
- ③酒田市
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤映画鑑賞、バスケットボール
- ⑥患者様の気持ちに寄り添える理学療法士になれるよう頑張ります。よろしくお祈りします。



◆山形県厚生省労働省指定◆

(有) 渡部 義肢

◆営業品目◆
義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジューラ)

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



株式会社 TAMATSU

本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

Your Healthy and Active Life With
YAMAGATA PROSTHESES INSTITUTE
あなたの健康で快適な人生の為に、山形義肢研究所ができること

有限会社 山形義肢研究所

ACCESS 山形市飯田五丁目5番39号
TEL 023-632-5214 FAX 023-632-5215



安心と信頼

- ・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型短断端を含む)
- ・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士 安達 武雄
山形市江保3丁目15-1
☎(023)681-0456

安達 プレイス 製作所

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房 (有)

東置賜郡高島町一本柳 2535-1
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
URL: <http://www.kazenosato.co.jp/>

座位保持装置・車椅子
電動車椅子・歩行器など

オーリンク株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話 (023) 681-3633 (代)



義肢・装具・車いす
他整形医療器具製造・販売

(有) エムサポート


〒990-2212 山形市上柳110
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

思いやりリハビリ・まごころケア

(有) 福祉用品やまがた

介護用品ショールーム
〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話 (0234) 26-1725
FAX (0234) 26-6780

医療の未来を見つめる総合商社



岡崎医療株式会社

■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

●定期的なマイページの確認をお願いします

日本理学療法士協会ホームページ内の「マイページ」の定期的な確認をお願いいたします。「マイページ」内の、会員専用コンテンツでは、教育、学術、職能、福利厚生情報が掲載されております。また、異動申請、会員情報の更新などの各種申請が可能です。

●会員異動届の手続きは済んでいますか

他都道府県理学療法士会からの転入、自宅住所および勤務先の変更、改姓された方は、「マイページ」より手続きをお願いします。

●会員区分について

会員の皆様の中で、自宅会員として異動申請される方がいます。日本理学療法士協会において、会員区分として、勤務先をもつ会員は勤務先会員となります。「マイページ」にて会員区分をご確認の上、現在の登録と異なる方は異動申請の手続きをお願いいたします。

●楽天カードでの会費の納入をお願いします

日本理学療法士協会では、会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」を指定しております。会費納入の漏れがなくなり、手数料も無料です。「マイページ」よりお申し込みください。

●新人教育プログラム修了には、マイページでの修了申請が必要です

マイページ内「生涯学習管理」メニュー中の、「生涯学習管理」-「履修状況確認」-「新人」-「修了申請」にて、手続きをお願いします。新人教育プログラムを修了していない場合、認定・専門理学療法士取得に必要な生涯学習ポイントの取得ができません。また、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダーの取得要件を満たしませんので、ご注意ください。

LCS

オーダーメイドの福祉用具

株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

生命科学・医療福祉分野を総合的にサポートする



株式会社 シバテクノ

■山形支店 〒990-2323 山形県山形市榎田東二丁目1番21号
TEL:023-642-8153 / FAX:023-623-5853
本社(仙台)・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ロジスティックセンター・メンテナンスセンターあなたの笑顔が見たいから
株式会社 蔵王サプライズ

●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目21番4号 TEL (023) 674-9600
支店・営業所 仙台支店/新庄営業所/庄内営業所Okaze
OKAZE CORPORATION株式会社大風印刷 〒990-2338 山形県山形市蔵王松ヶ丘1-2-6 TEL.023-689-1111
●天童営業所・☎023-654-5715 ●東根営業所・☎0237-53-0117 ●仙台営業所・☎022-399-7861
●東京営業所・☎03-5829-6650 ●ガッタハウス・☎023-631-5579

編集後記

今年度2回目の発行となります。新型コロナウイルスがなかなか収束しない中ではありますが、当会でも可能な範囲での活動を徐々に再開しております。

また、今号では改めて当会の組織の紹介を載せてみました。各部で勉強会、研修会および情報交換会等を企画していますので、是非ご参加下さい。

広報部では会員の皆様の声を随時募集しておりますが、なかなか聞こえてこない現状です(>_<)。引き続き、広報誌に載せて欲しい情報などありましたら是非ご連絡よろしく申し上げます！

広報部部长 国立病院機構山形病院 石川

■発行/一般社団法人 山形県理学療法士会

■発行者/岩井 章洋

■編集者/鈴木 健太

■広報部/E-mail: ptkouhoubu@yahoo.co.jp